

授業科目	区分・教育内容		
老年看護学概論	専門分野Ⅱ 老年看護学		
授業担当者	開講時期	単位数	時間数
佐藤 聡美 中川 郁子 仲野谷美貴子 (中通総合病院)	前期～中期	1 単位	30 時間
授業の目的			
高齢者の特徴と高齢者を取りまく医療福祉の動向を理解し、看護の果たす役割を学ぶ。			
授業の目標			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 老年期を生きる人々の生活と健康について理解する。 2. 高齢者の人生の最終段階における看護を理解する。 3. 高齢社会の現状と高齢者の生活を支える医療福祉制度を理解する。 			
授業概要			
<p>わが国では、世界で類のないほどのスピードで高齢化が進み、老年看護は複雑、高度化している。この授業では、高齢者の特徴と高齢者を取り巻く社会の理解、高齢者医療福祉の動向と看護に求められるものを学ぶ内容とする。高齢者疑似体験の演習を取り入れ、加齢に伴い身体的変化を実感できるようにし、そこから看護の留意点を考える授業としたい。また、老年看護の課題の一つでもある認知症患者の看護については、その専門家である認知症看護認定看護師の講義で、学びを深めてもらいたい。進行・内容はテキスト通りではないので、テキストは授業の補助として使用する。</p>			
授業計画（進め方）			
佐藤担当	1・2 回目	1 章：ライフサイクルと高齢者・高齢者の特徴 高齢者にとっての健康と QOL・加齢に伴う変化	
	3・4 回目	2 章：高齢者の生活と家族 高齢者を支える制度と社会資源	
	5 回目	3 章：地域包括ケアシステム	
	6 回目	4 章：高齢者看護の特性・高齢者看護にかかわる諸問題	
	7・8 回目	4 章：リスクマネジメント・高齢者における倫理	
	9 回目	5 章：高齢者のヘルスプロモーション 6 章：生活を支える看護	
	10 回目	エンドオブライフケアとグリーフケア	
中川担当	11・12 回目	演習：高齢者類似体験	
仲野谷担当	13 回目	認知症の疾患と治療	
	14 回目	身体抑制の体験学習	
	15 回目	認知症高齢者の看護	
テキスト			
ナーシンググラフィカ	老年看護学①	高齢者の健康と障害	メディカ出版（佐藤）
ナーシンググラフィカ	老年看護学②	高齢者看護の実践	メディカ出版（仲野谷）
指定図書・参考書			
評価の方法			
講義終了後に筆記試験を行う。 佐藤 80 点・仲野谷 20 点 合計 100 点で評価する			